

女性の参政権
から70年

女性ならではの 柔軟な視点で投票しよう



GO! VOTE!

政治を変えよう
私たちが変える



選挙に行こう

日本医労連

2016参議院選挙

投票日 7月10日

期日前投票を利用しよう

●6月23日～7月9日 ●AM8:30～PM8:00
●市区町村役場または出張所で

私たち働く女性は家事に、育児に、仕事にと、日々大忙し。「看護師増やせ」「介護士増やせ」「保育士の処遇を改善して」「賃金上げて」などなど。たくさんグチがありますよね。グチで終わらせず、「要求」として声をあげましょう！そして、要求は、国の政策で変えられます。

「いのちまもる私たちは戦争に反対します」。「戦争」か「平和」かを問われる選挙でもあります。オスプレイ1機で看護師約2,100人を雇用できません。「自分が行っても変わらないわ～」はダメ。YESかNOか、女性ならではの、柔軟な視点でしっかり意思表示しましょう！

お忙しい方は期日前投票なども利用しましょう。

全労災がポスター作成

妊娠発覚と同時に、原則夜勤免除の協定を持っている全労災が、「妊娠したら夜勤はやめましょう」のポスターを作成しました。

全労災は、産前産後休 8週 8週など、独自の制度を勝ち取っていますが、いまだ夜勤をしている妊産婦のいる現状を変えようとポスターを作成しました。せっかくの制度も使わなければすぐに後退してしまいます。まずはお腹の赤ちゃんを最優先に考えましょう。

日本医労連のホームページ「女性のページ」にも掲載していますので、参考にしてください。

妊娠したら 夜勤はやめましょう

(妊娠したことを所属長に伝えましょう)

組合では、母性保護のために
こんな権利も勝ち取っています。

- 妊産婦の勤務軽減
- つわり休暇
- 健診休暇
- 産前産後休暇
- 育児時間
- 看護休暇
- 育児休業

その他女性が働き続けるための
様々な制度があります。
詳しくは、組合役員までお問い合わせください。

全国労災病院労働組合女性部

女性部に関連するニュース、写真、ご意見、要望、感想ドシドシお寄せください。
日本医労連女性協 担当：金子・寺園 n-ask@irouren.or.jp まで